

2025年2月期 第2四半期決算説明資料

株式会社クリーム（東証グロス：4017）
2024年10月10日

Creema



2025年2月期
上期業績



2025年2月期上期業績まとめ

上期の全社売上は前期比101%で成長。コストの厳格な管理もあり、営業利益は前期比342%に拡大した。その他、補助金や繰延税金資産等の入れ繰りがあり、当期純利益は前期比263%成長での着地となった。

単位：百万円	(参考) 24/2 上期	25/2期 上期	前期比		
			金額	率	
売上	1,239	1,248	+8	101%	マーケットプレイスサービスは厳しい事業環境となったが、それ以外のサービスは着実に伸長。
売上原価	258	294	+36	114%	「Creema YAMABIKO FES」 「HandMade In Japan Fes 2024」の開催等で、 原価は一時的に増加。
売上総利益	980	953	▲27	97%	
販管費	975	937	▲38	96%	プロモーション費を含めコストを厳格に管理。
営業利益	4	16	+11	342%	売上は前期比で微増に留まるも、コストの厳格な 管理により、営業利益は前期比342%で成長
経常利益	25	16	▲9	63%	前年同時期に補助金収入が計上されていたが、 今期はそれがないこともあり、前期比63%。
当期純利益	12	33	+20	263%	直近の事業計画を踏まえ、繰延税金資産 を計上した関係で、前年比263%。

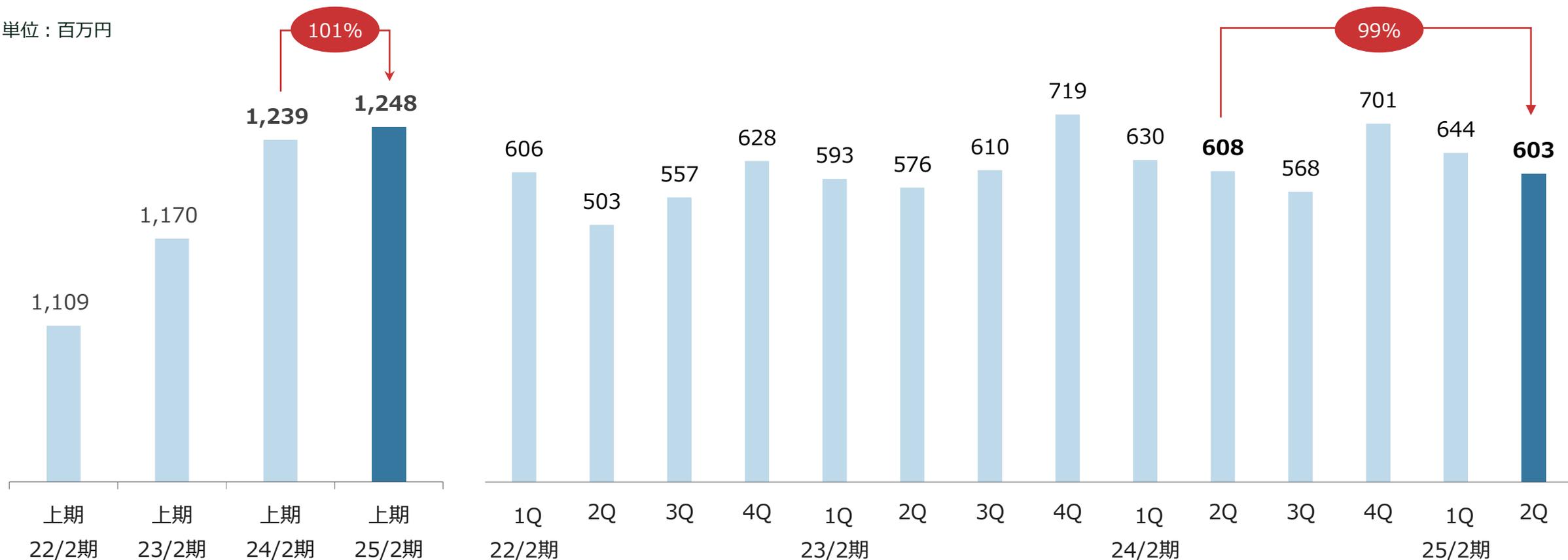
連結売上高の推移

外部環境の悪化に伴いマーケットプレイスサービスの成長に下方圧力がかかった一方で、プラットフォームサービスや新サービス群など、マーケットプレイスを除く全サービスが着実に成長したため、上期の売上は前期比101%となる12.48億円での着地となった。

上期

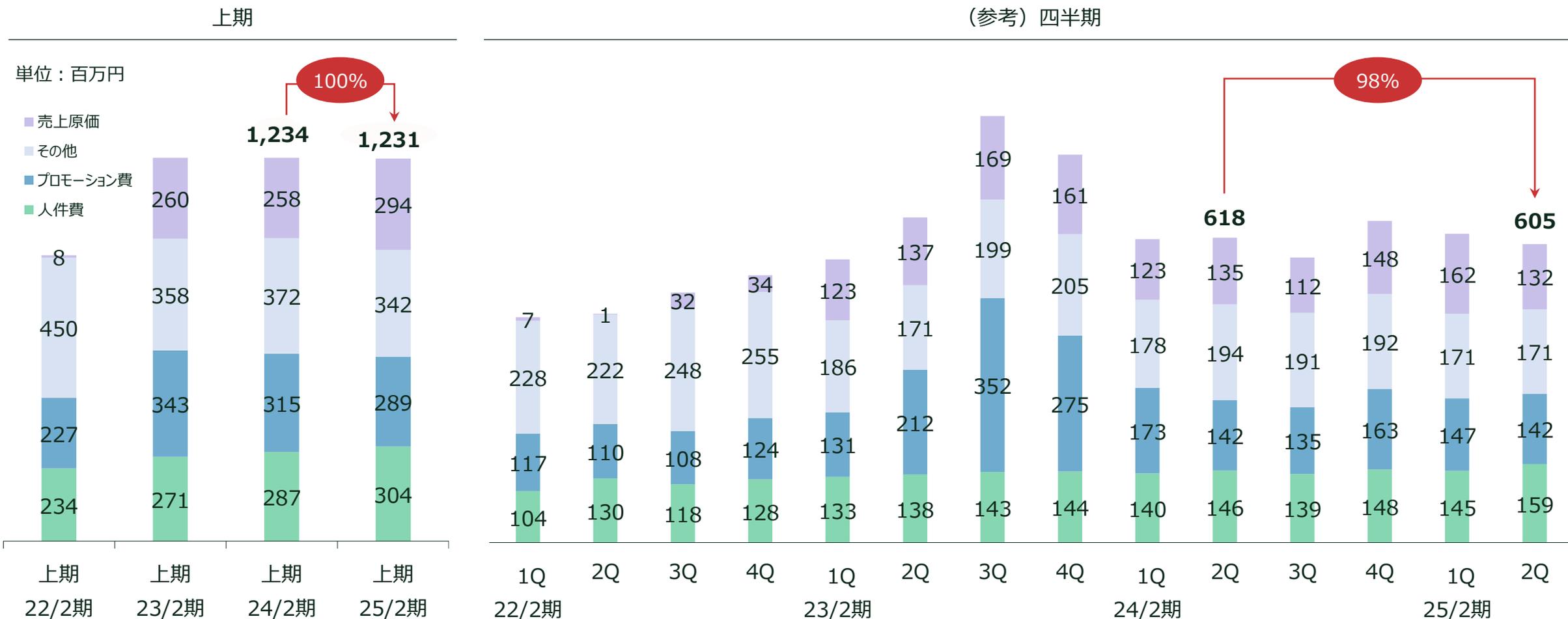
(参考) 四半期

単位：百万円



連結コストの推移（売上原価＋販管費）

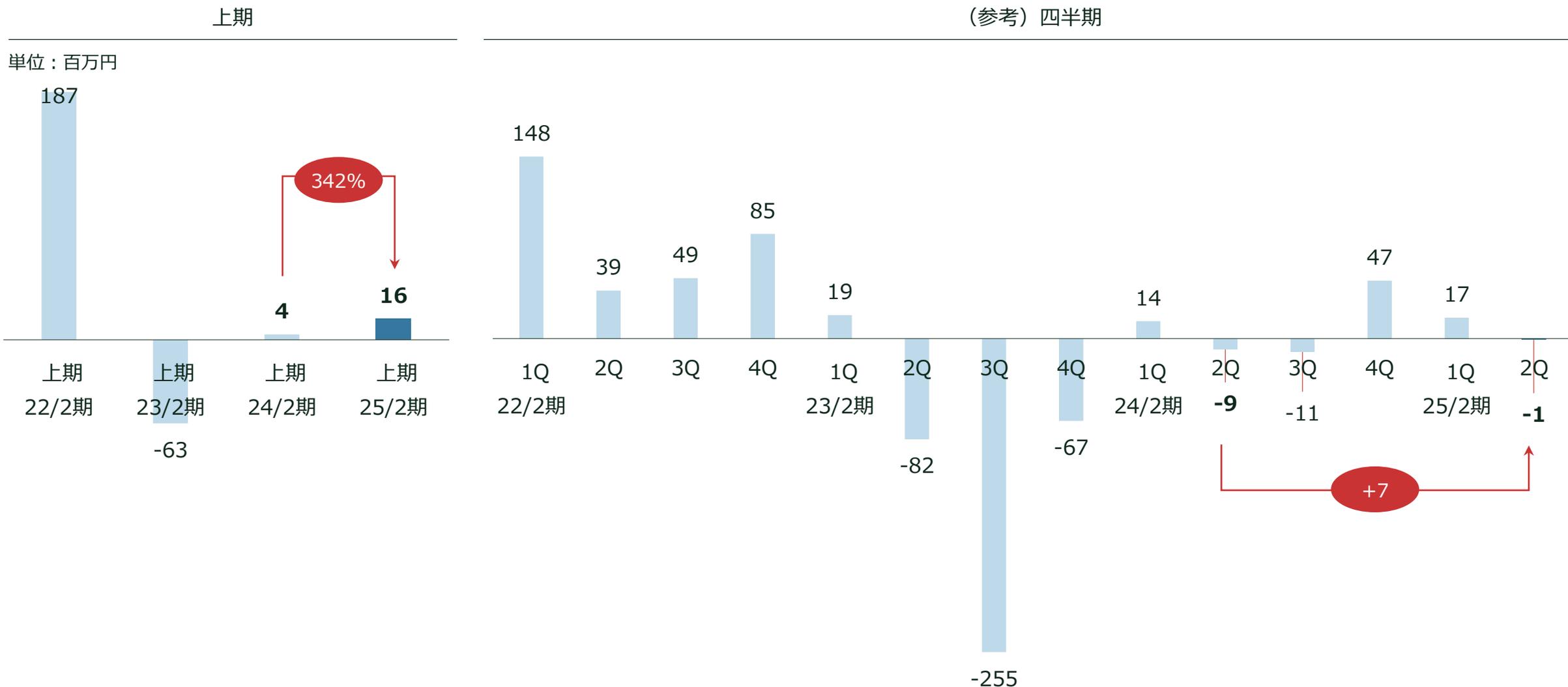
新サービス群を中心に中長期成長に向けた戦略投資を拡大したことに加え、今期1Qには「Creema YAMABIKO FES」の開催もあったが、プロモーション費や人員数等を中心に販管費の適正化を大胆に進めたことで、売上原価と販管費を合わせた上期の総コストは前期比100%での着地となった。



NOTE：23/2期より、新収益認識基準の適用に伴い、販管費の一部が売上原価に計上されている。

連結営業利益の推移

前述の通り、売上は前期比で微増ながら、コストを適正に管理した結果、上期の営業利益は前期比342%となる16百万円での着地となった。



連結経常利益の推移

上期の経常利益は、前年同時期に営業外収益に計上されていたイベント関連の補助金収入が今期は発生しなかったため、前期比63%となる16百万円で着地した。

上期

(参考) 四半期

単位：百万円



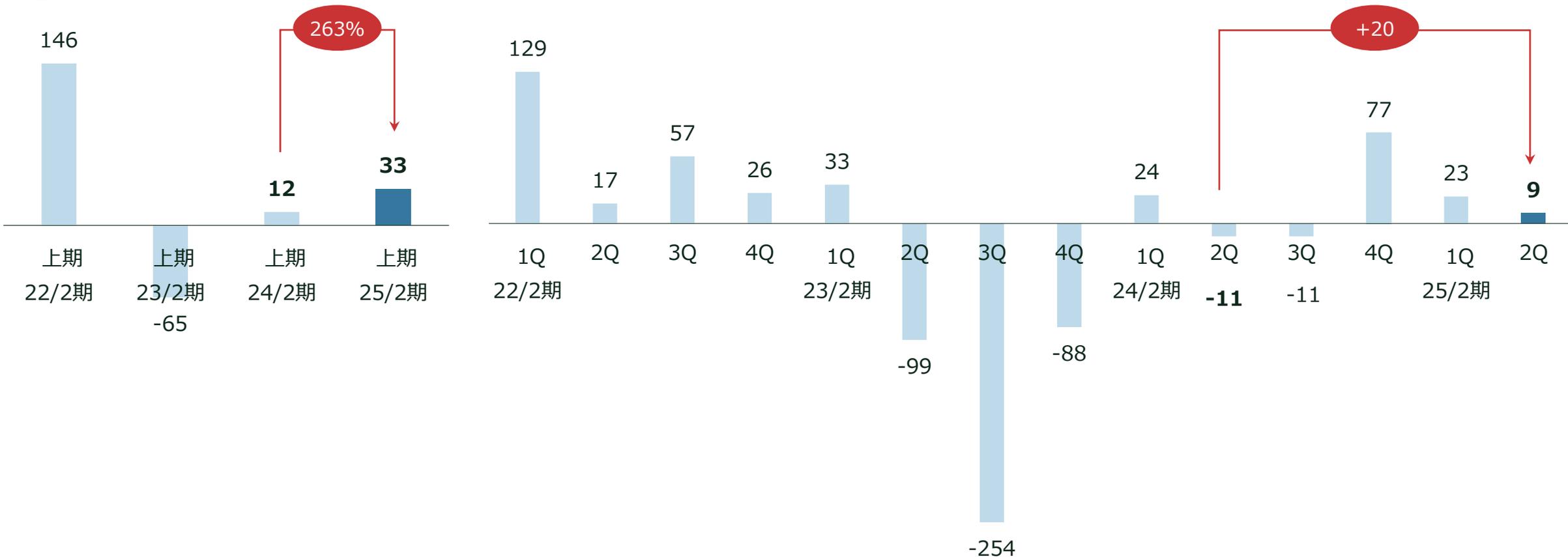
連結税後利益の推移

直近の事業計画を踏まえ、繰延税金資産を計上した関係で、上期の税後利益は前期比263%となる33百万円で着地した。

上期

(参考) 四半期

単位：百万円



バランスシートの状況

引き続き財務基盤は安定的な状態を維持している。

BSの推移（単位：百万円）

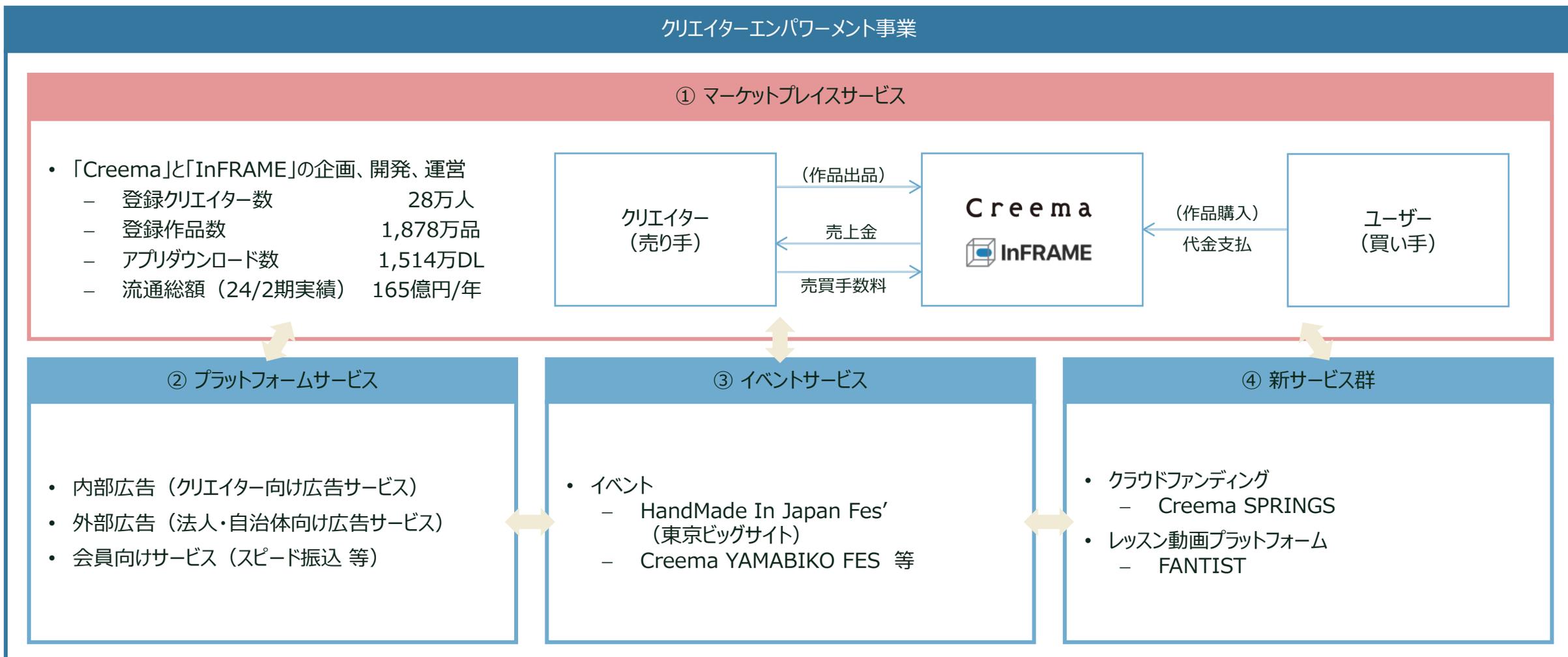
項目	2024/2期 前期 2Q	2025/2期 今期 2Q	前期比
資産合計	3,474	3,246	93%
流動資産	3,202	2,932	92%
内、現金及び預金	2,591	2,311	89%
内、売掛金	589	591	100%
内、その他	21	29	137%
固定資産	271	313	115%
負債合計	2,540	2,211	87%
流動負債	2,132	1,957	92%
内、預り金	1,531	1,442	94%
内、一年以内返済予定借入金	242	153	64%
内、その他	359	360	101%
固定負債	407	254	62%
内、長期借入金	407	254	62%
内、その他	0	0	0%
純資産合計	933	1,034	111%

25/2期2Q時点のBS構成（単位：百万円）

流動資産 3,246	流動負債 1,957
<ul style="list-style-type: none"> • 現金 2,311 • 売掛金 591 • その他 29 	<ul style="list-style-type: none"> • 預り金 1,442 • 一年以内返済予定借入金 153 • その他 360
	固定負債 254
	<ul style="list-style-type: none"> • 長期借入金 254 • その他 0
	純資産 1,034
固定資産 313	

事業構造とクリーマ経済圏

次頁以降、クリエイターエンパワーメント事業を構成する各サービスについての直近の動向を解説していく。



① マーケットプレイスサービス：流通推移

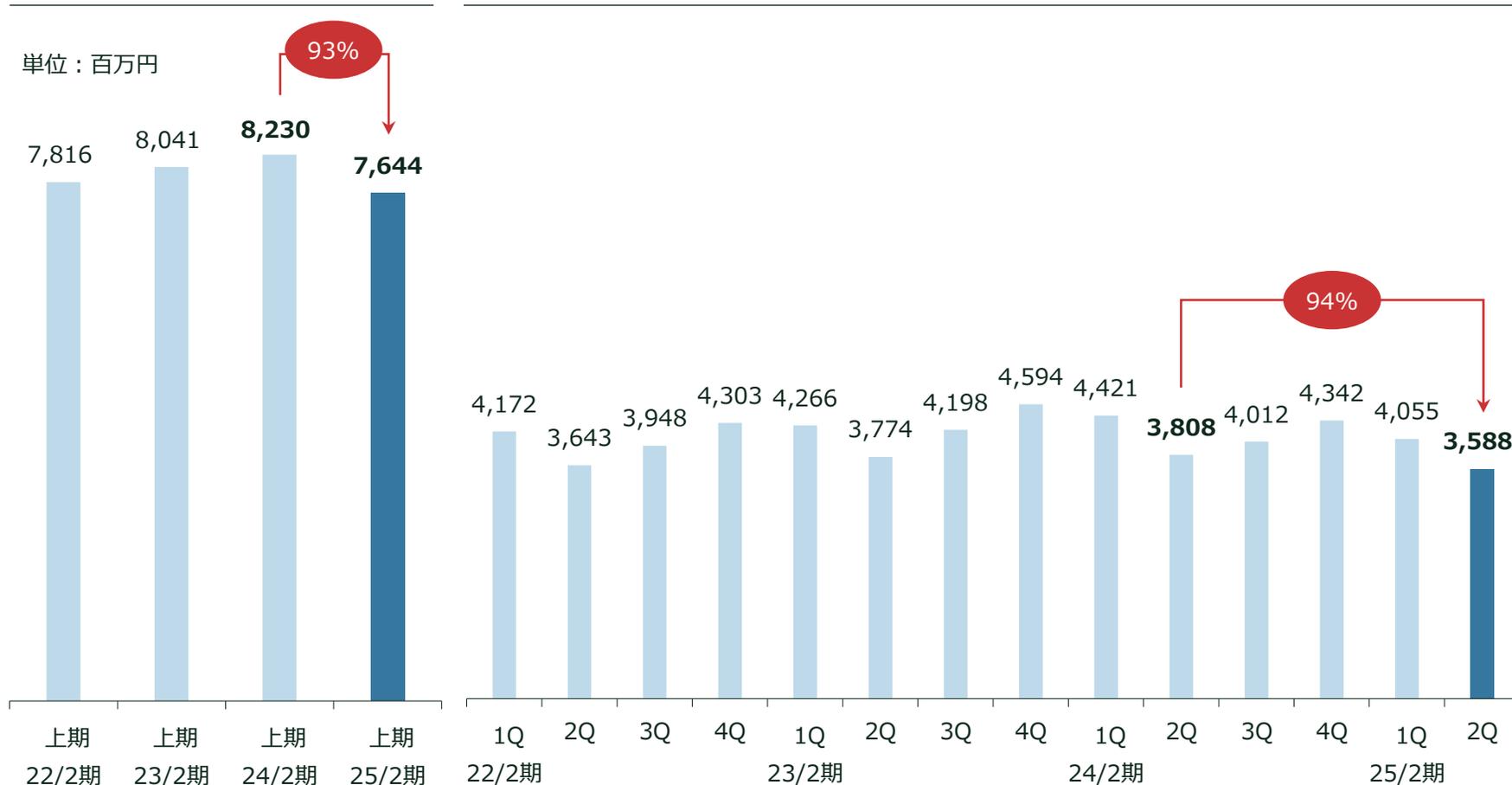
トレンドを踏まえた各種マーケティング施策の実施に加え、検索機能の改善やカート画面のリニューアル等を中心に「Creema」のプロダクト改善等に取り組んだが、前年に行ったTVCMの反動・Web広告単価の暴騰・当社ドメインを不正に利用した「なりすましメール」問題への臨時対応の発生等が重なり、上期の流通総額は前期比93%となる76億円での着地となった。

上期の主な取り組み

- 季節のトレンドを捉えた各種マーチャダイジング・キャンペーン施策を展開する等、クリエイター作品の魅力を訴求する様々な企画・特集を実施。
- カート画面のリニューアルを中心に「Creema」のユーザーインターフェース改善や、インフラ基盤の強化等、プロダクト面においても多面的な強化を推進した。
- 一方で、前年に実施した施策の反動や、広告・検索関連の外部環境変化、不正な「なりすましメール」への対応等がサービスの成長にとって逆風となった（次頁参照）。
- その結果、上期の流通総額は前期比93%となり、前年実績を下回る結果となった。

上期

(参考) 四半期



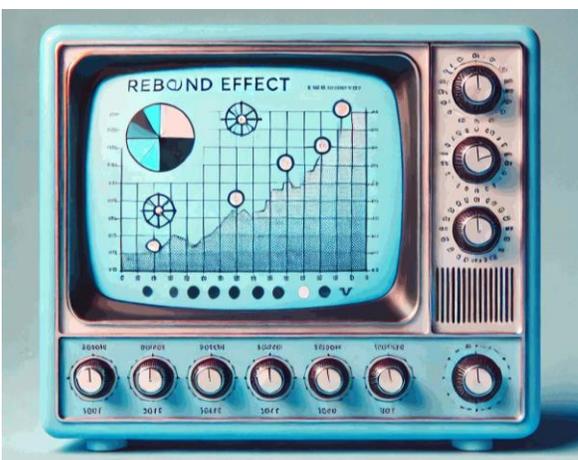
① マーケットプレイスサービス：主な流通棄損要因

前期1Qに実施したTVCMを今期は実施しなかったことに加え、Web広告における広告単価の暴騰、検索サイトのアルゴリズム変更に伴う当社サイトの検索順位の下落、当社ドメインを不正に使用した「なりすましメール」問題への臨時対応の発生など、サービス成長にとって逆風となる外部環境変化が多数発生。事態収束に向けて各種対応を迅速に行った。

1Qからの継続要因

2Qからの新要因

TVCMの反動



前期1Q、大型のTVCMを展開していたため、今期1Q~2Qはその反動を受けるかたちとなった。

今期3Q以降に自然に解消していく。

広告単価の高騰



中国のEC関連企業が大量の広告宣伝費を投入し、世界中でWeb広告枠を買い占めている影響で、Web広告単価が世界中で大幅に高騰し、獲得効率が悪化した。

広告戦略・広告支出のバランスの見直し、獲得効率の改善に努めている。

検索順位の下落



大手検索プラットフォームの検索アルゴリズムの改変に伴い、一部の検索ワードにて、当社サービスの検索順位が一時的に下落することとなった。

SEO対策を強化し、検索順位の改善に努めている。

なりすましメールの横行



当社のドメインを無断で使用した上で、当社以外の企業や官公庁を装い送信される「なりすましメール」が横行したため、事態収束に向けた対応に多くのリソースがとられることとなった。

一通りの対応を終えたものの、警察等と連携しながら、引き続き状況を注視していく。

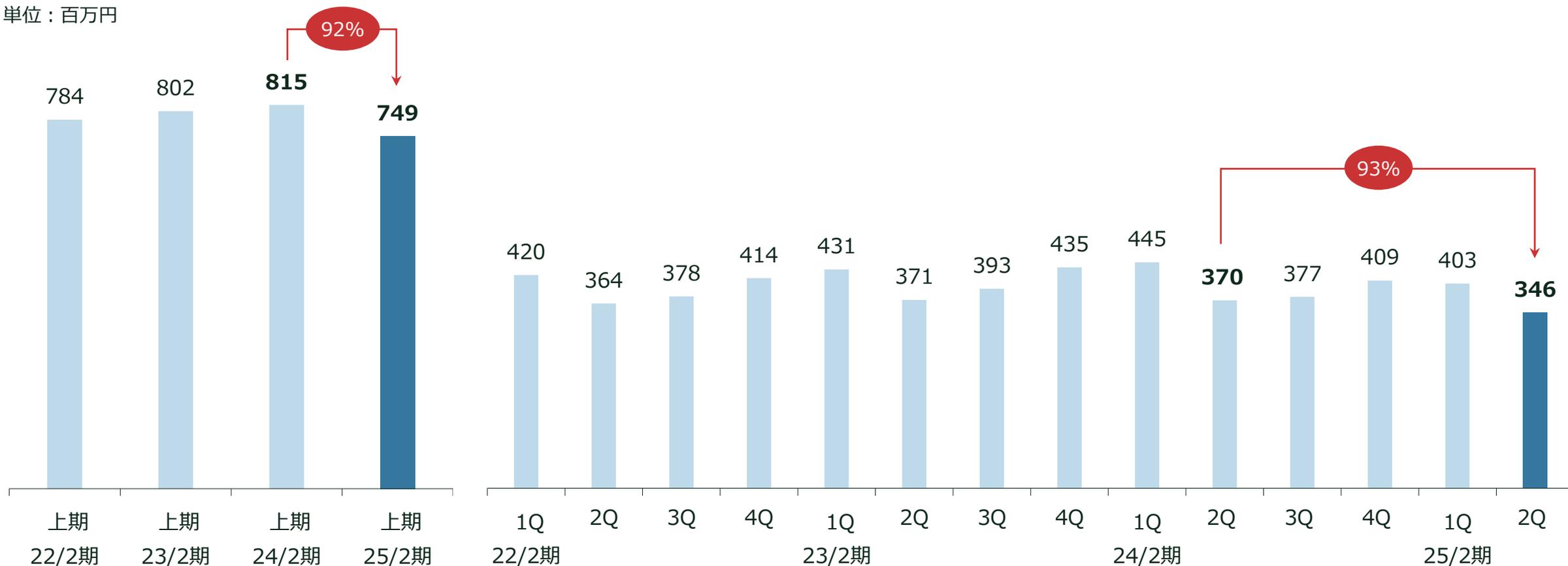
① マーケットプレイスサービス：売上推移

マーケットプレイスサービスの上期の売上は前期比、92%となる7.49億円での着地となった。

上期

(参考) 四半期

単位：百万円

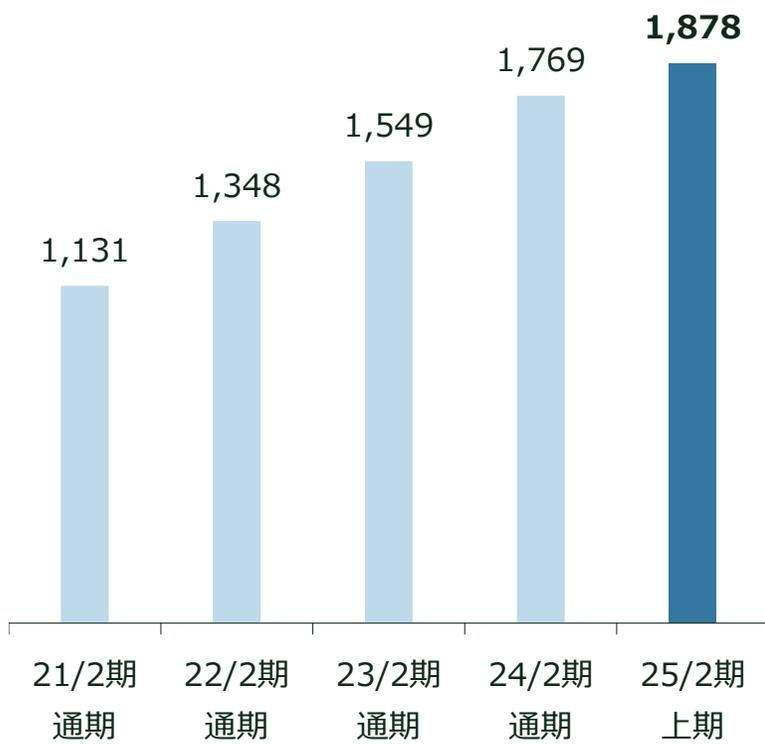


① マーケットプレイスサービス：KPI推移

出品数・アプリDL数ともに堅調に推移。取引単価についても着実に成長し、過去最高額を更新。

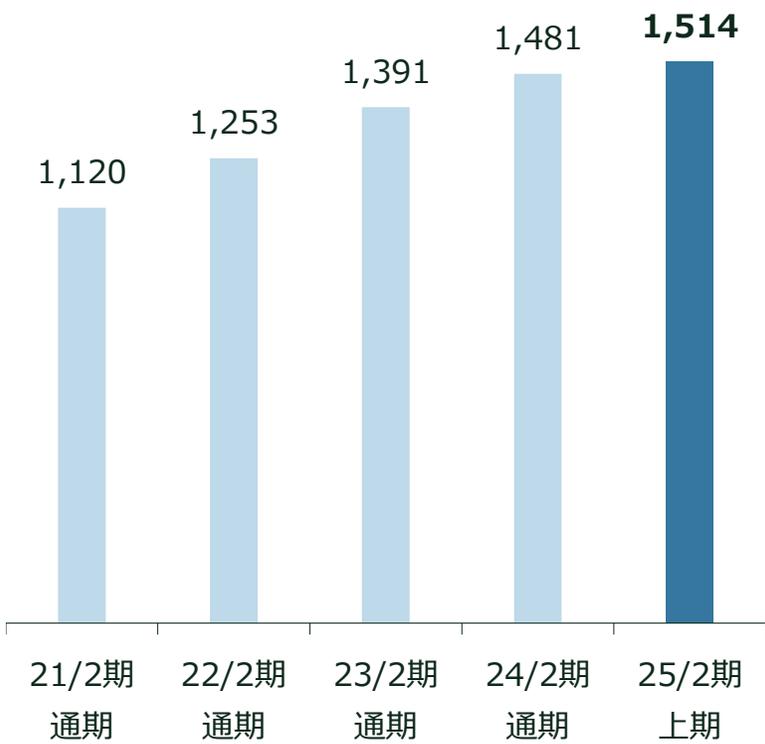
登録作品数

単位：万



アプリダウンロード数

単位：万



取引単価

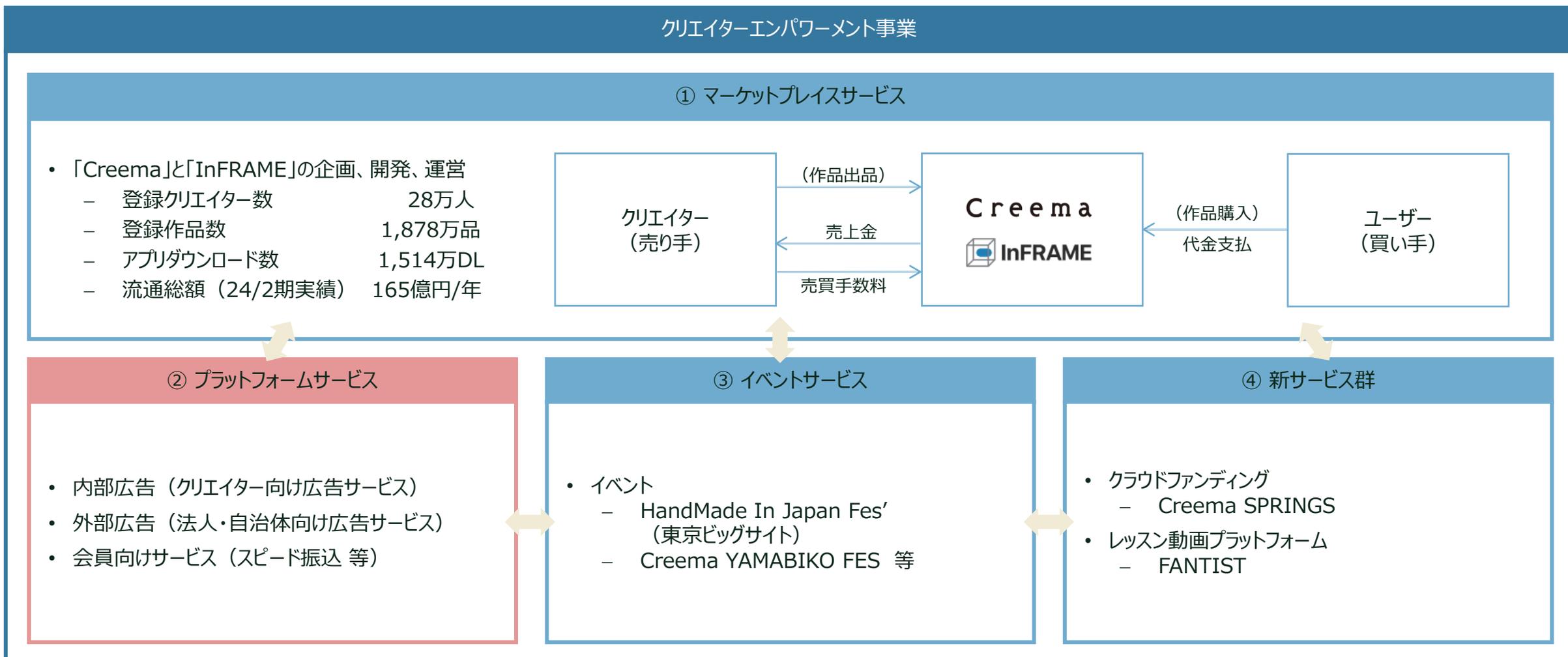
単位：円



NOTE：24/2期までは年度末、25/2期のみ2Q末の数字。

再掲：事業構造とクリーマ経済圏

次頁以降で、プラットフォームサービスの直近の動向について解説していく。



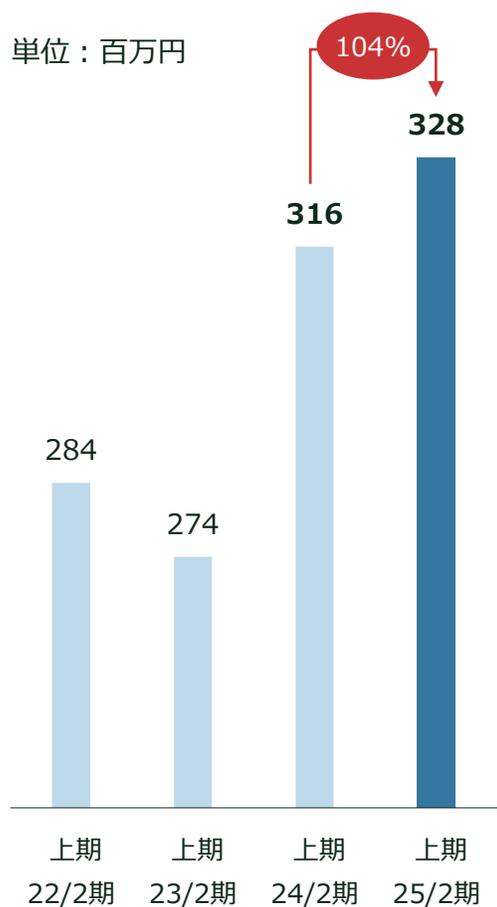
②プラットフォームサービス：主な取り組みと売上推移

プラットフォームサービスでは、外部広告・内部広告ともに着実に成長し、上期の売上は前期比104%となる3.28億円での着地となった。

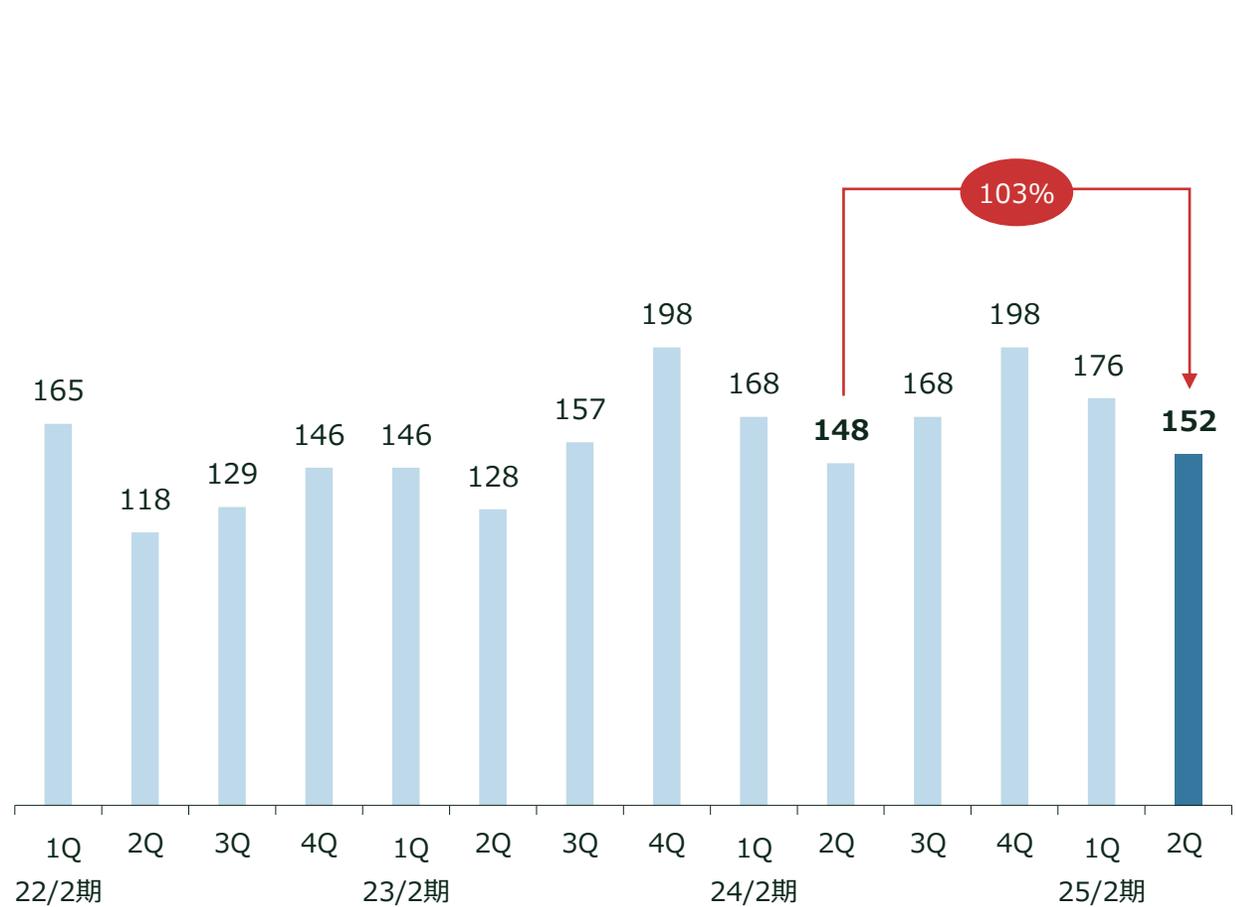
上期の主な取り組み

- 「Creema」のプラットフォームならびにユーザー基盤を活用した企業・地方公共団体向けのPR支援を行う外部広告サービスでは、地方創生プロジェクトや商業施設でのイベント開催などを中心に納品が進んだ。
- クリエイターが自身の作品を「Creema」上でプロモーションできる内部広告サービスでは、広告サービスの利用者数を増加させるべく、その普及に努めた。

上期



(参考) 四半期



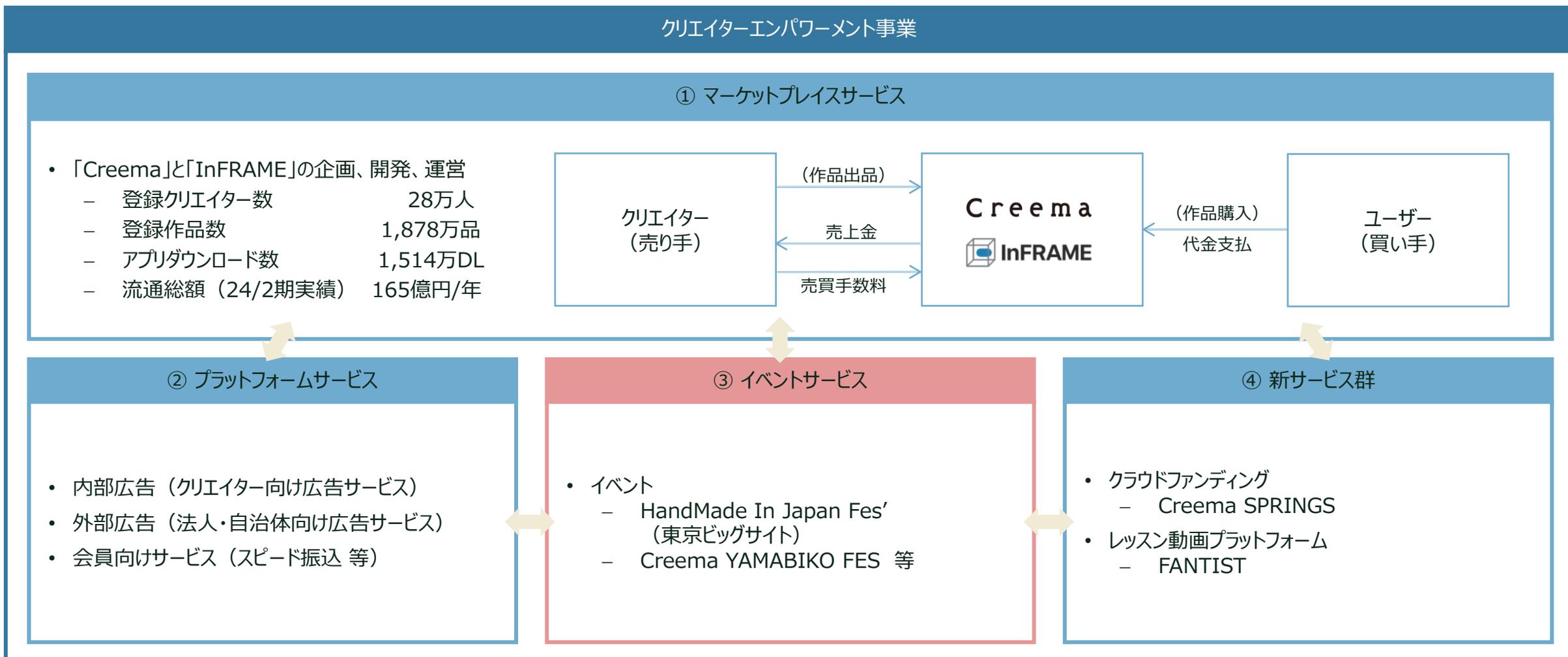
参考：2Qの取り組み事例 - Creemaオリジナルワークショップ2024

東京ドームシティにて、「Creema」登録クリエイターによる多彩なワークショップを月替わりのテーマで開催。



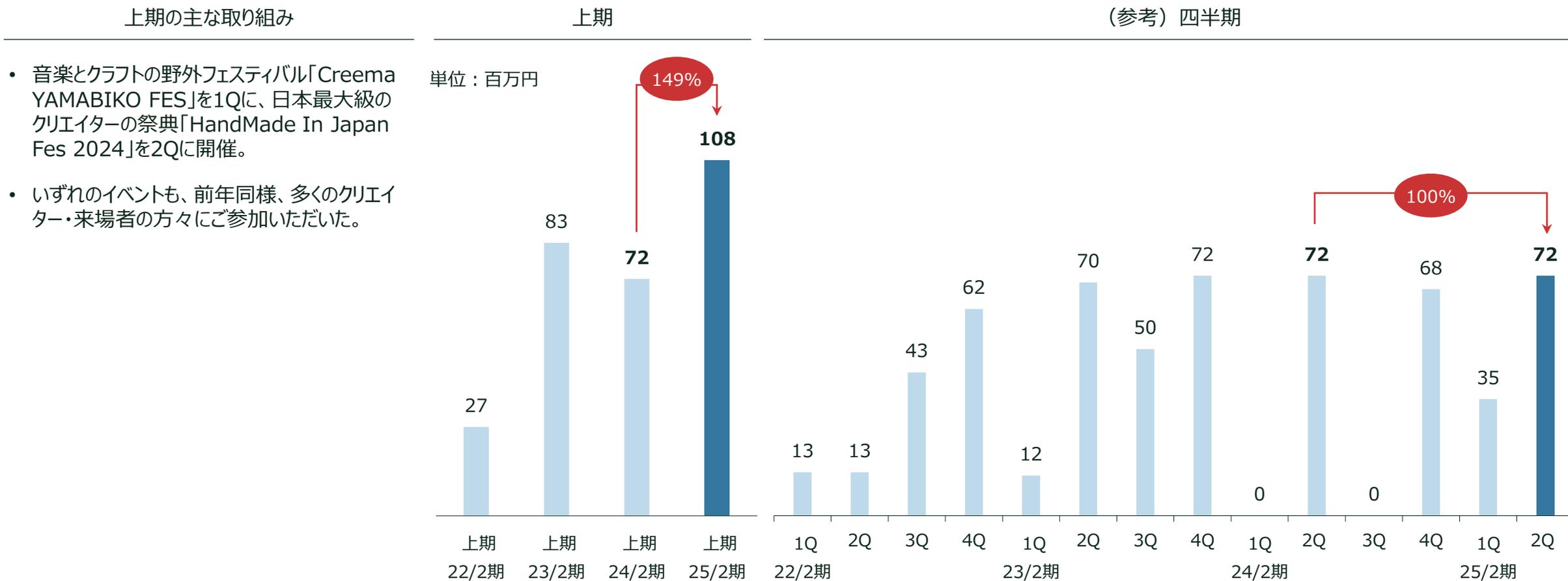
再掲：事業構造とクリーマ経済圏

次に、イベントサービスの直近の動向について解説していく。



③ イベントサービス：主な取り組みと売上推移

1Qには「Creema YAMABIKO FES」、2Qに「HandMade In Japan Fes' 2024」を開催した結果、上期の売上は前期比149%となる1.08億円と大幅に拡大した。



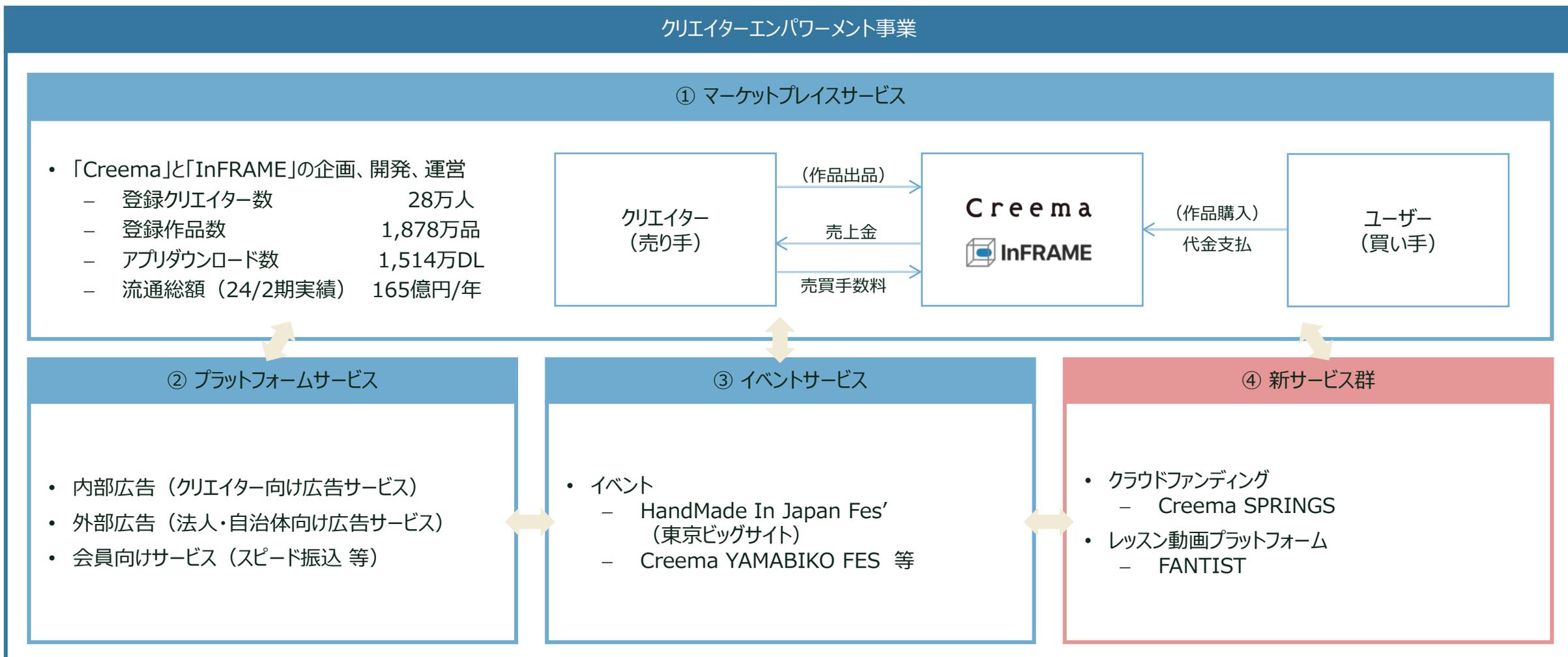
参考：2Qの取り組み事例 - HandMade In Japan Fes 2024

「HandMade In Japan Fes 2024」が2日間にわたり開催され、大盛況のうちに幕を閉じた。次回は2025年1月開催予定。



再掲：事業構造とクリーマ経済圏

最後に、新サービス群の直近の動向について解説していく。



④ 新サービス群：「Creema SPRINGS」と「FANTIST」

クラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」では、プロジェクトの多くが目標支援金額を達成。レッスン動画プラットフォーム「FANTIST」では、提供レッスン動画数が日本最大級となる2,200本を超え、コンテンツもユーザー数も着実に成長。その結果、上期の売上は前期比179%となる60百万円で着地した。

Creema SPRINGS

Creema SPRINGS プロジェクトを探す 検索 プロジェクトをはじめよう ログイン | 新規登録

明治28年創業。老舗メーカーが贈る子供の頃から大人になるまで使える家外兼用コンパクト包丁

大人も欲しい、本格派。
老舗メーカーが贈る
こども包丁

FEDECA

© このプロジェクトは実行確約型です

このプロジェクトのポイント

集まっている金額
5,667,708 円 (目標金額 300,000 円) **Success**

1889%

購入者数 432人 終了しました

お気に入り 245 パチパチ 307

お気に入り パチパチ

- クラウドファンディングサービスの「Creema SPRINGS」では、ハンドメイドマーケットプレイス「Creema」との顧客基盤を連携させつつ、多様かつ魅力的なプロジェクトの拡充を図った。

FANTIST



- レッスン動画プラットフォーム「FANTIST」では、多様なレッスン動画を提供しており、その動画数は日本最大級となる2,200本を超えている。現在はクリエイターが自ら提供するコース動画や、FANTIST社が独自で開発したFANTIST公式コースの提供も行っている。

参考：2Qの取り組み事例 – Creema SPRINGSの取り組み事例

「Creema SPRINGS」では、縫製会社ヒロ様による石川県&珠洲市への復興支援プロジェクトを実施するなど、単なる事業成長のみならず、事業運営を通じた被災地復興支援等の社会課題解決にも力を入れている。

Creema SPRINGS プロジェクトを探す 検索 プロジェクトをはじめよう ログイン | 新規登録

みんなでつなぐ「能登への祈り-praying for Noto's future-」プロジェクト

能登への祈り

能登半島地震 復興・復旧応援プロジェクト
トートバッグで繋ぐ能登の未来

② このプロジェクトは実行確約型です

このプロジェクトのポイント

- 昔、縫製会社のヒロの工場は、能登の珠洲市にありました。石川県&珠洲市への復興支援プロジェクト
- 震災当日からその後の石川県・珠洲市の状況。そしてそれを支援したいという周りの方々の支えでスタート
- 色んな方々のサポートで完成「能登への祈り praying for Noto's future」トート

集まっている金額 4,147,436円 (目標金額 2,000,000円) Success

207%

購入者数 1283人 終了しました

お気に入り 131 パチパチ 978

お気に入り パチパチ



2025年2月期 PL着地予想

既報の通り、今期通期での業績予想は以下の通りで、着実な売上成長と、コスト適正化を段階的に進めることで、営業利益は前期比293%となる1.2億円超を目指す。

	2025年2月期業績予想				参考：主要サービス別売上予想	
	参考：2024年2月期	2025年2月期	前年比			
単位：百万円			金額	率		
売上	2,508	2,712	+203	108%	マーケット プレイス	1,653 (前期比：103%)
売上原価	519	600	+80	116%		
売上総利益	1,989	2,112	+122	106%	プラットフォーム	742 (前期比：109%)
販管費	1,947	1,990	+42	102%		
営業利益	41	121	+79	293%	イベント	178 (前期比：126%)
経常利益	68	124	+55	181%		
当期純利益	79	91	+12	115%	新サービス群	137 (前期比：171%)

Creema 株式会社クリーム

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済活動の動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

株式会社クリーム コーポレートDiv.

<https://www.creema.co.jp/contact>